

平成22年度 活動のまとめ

1 家庭・地域での子育てを大切にし、取り組む。

授業参観には多数の会員の参加がみられ、子どもたちの学習の様子を参観することができましたが、参観後の懇談会の出席率は低く、今年度も引き続き課題となっています。12月に実施した保護者アンケートでも、懇談会や学校行事そのものへの出席意識が低いという結果でした。しかし、学級懇談会に参加されている方は子育てや家庭教育について熱心に語られ、改めて家庭教育の大切さを感じさせられました。

今年度は、講堂・特別教室棟の耐震工事及び新校舎建設工事のため、例年9月に開催されていた運動会を5月2日に行いました。子どもたちの練習や準備はたいへんだったかとは考えられますが、気候の良い季節のため、健康安全面ではよかったと思われます。今後も暑い時季を避けての実施が望ましいのではないかという声も聞かれました。

不審者等の対策として、PTA会員が学校の方に来られるときには、不審者と区別できるよう必ず「保護者バッジ」を付けて頂く活動を進めていますが、最近では着用していない方も目立ってきました。今後も来校される会員の方々は、必ず「保護者バッジ」をつけるよう、協力をお願いします。また、登下校時を含め子ども達の安全確保については「湯浅町安全安心サポート隊」「県下一斉のセーフティネットの日」など、各機関の協力を得ながら取組を進めていかなければならないと考えています。併せて、学校には、学校からのメール連絡も活用してもらいたく思います。

2 児童一人一人が健やかに成長・発達できるように取組をすすめる。

子どもたちの健全な育成について、学級懇談会の中心議題として話し合いました。まずは、子どもたちの健やかな成長のため「早寝、早起き、朝ご飯」で生活のリズムをつくり、親子のふれあいを大切にしていきたいということです。学年の親子行事には多くの参加を得ることができているので、さらに親同士の交流も深められるように内容の工夫もしていきたいものです。また、運動会では観覧席を地区割りにし、前にゆずり合いゾーンを設置（3年目）したところ、保護者の方々にも好評でした。しかし、その場で立って観覧している人や我が子の演技が終わってもその場で観覧しているため、後ろの人にとっては、とても見づらいとの意見が寄せられました。子どもたちの演技やがんばっている姿は心に残りました。しかし、ゴミやたばこの吸い殻など、マナーの面で課題も残っています。

夏休み中の地区行事については、本校児童の水難事故に伴い、それ以後開催予定の地区については中止していただきました。この地区行事も安全や衛生面に留意しての実施を引き続き心掛けなければなりません。保護者のなかから地区行事の開催そのものを考えるときにきているのではないかという意見も出されています。

夏休みのプール監視は、各会員一回となるよう学級の男女別の保護者で担当を割り振り計画しました。また一昨年より監視月日の変更希望を取り当番を確定しました。変更希望を出された方の出席率はよく、意識と責任感の高さが伺えました。その結果、保護者の出席率が昨年度に引き続き40代を保ち42%となりました。さらに、会員のプール監視の出席率を上げる取組を進めていきます。

七夕や夏祭り等の校外指導においては、町内の各団体とも協力しながら取り組みました。

長年実施してきた朝の「声かけ運動」は、今年度は年間9日実施しました。児童会活動で毎週水曜日に実施している「あいさつ運動」もあり、それらの成果として、町民の方々からも「湯浅小学校の子はよく挨拶してくれる」とおほめの言葉をいただいております。しかし、声かけ運動の参加については学年による差もありました。今後も、明るく元気にあいさつができる子にしていくために、家庭も学校も一つになって取り組みを進めていきます。

3 学校教育及びPTAに対する正しい理解と認識を高める。

授業参観や学級懇談会をもち、学校教育およびPTAに対する正しい理解と認識を高める取組を行いました。

広報部は、PTA新聞「なぎの光」を年3回企画・発行し、会員に学校教育、PTA活動について広く知らせました。また町回覧板で、毎回校区内に回覧をしてきました。

文化給食部では、学校給食について会員の認識を高めるため、1年生の保護者を対象に給食試食会を実施しました。51名の方が参加され、感想アンケートをまとめ、給食センターに届けました。子どもたちの給食の様子も参観しました。

安全保体部では、交通安全教室（1・2年生）への協力と水難救助法の講習会を計画・実施を行いました。救助法には49名の参加があり、湯浅広川消防組合の方に心肺蘇生法についての指導を受け、ダミー人形を使っての人工呼吸も体験しました。また、AEDについての説明を受け、使用方法についても指導を受けました。

4 学校環境の美化、設備の充実及び資源を大切にす運動を行う。

今年度は、耐震工事に伴い、夏休みには奉仕作業として教材・教具や備品などの運搬を行いました。100名以上の会員の参加により、予定時間よりもかなり早く作業を終えることができました。また、3月5日に実施した引越作業も多くの会員の協力を得て、無事新校舎に移ることができました。改善された環境のもと、子どもたちも安心して気持ちよく学校生活を送れることと思います。

会員の皆様が収集してくださったベルマークを、人権福祉部が整理しました。獲得した点数は、備品購入に役立てました。

5 人権及び人権問題について理解を深めるなかで、人権教育の推進をはかる。

各学年の学級懇談会では、ステップⅠの保護者に書いていただいた「おいたちの記」に基づいて話し合いが行われ、入級児童に対する理解をより深めることができました。

2月のPTA人権保護者学級では、人権教育の一環として「ほめ方の極意」と題して、スクールカウンセラーの柿原愛子さんから、お話をうかがいました。普段の生活の中では、いかに叱っていることの方が多いかを認識でき、褒めることの効果と大切さを知ることができました。

以上、本年度の活動のまとめです。